

第1期（昭和57年頃）

（課題）同和地区児童生徒の学力・進路保障



- ・保小中連絡協議会
- ・久世学区合同同和研修会
- ・互いに対立することも

- ・一部教育機関に限定的
（久世中・大藪小・久世保育所・久世第二保育所）

第2期(平成10年代前半)

(課題)「生徒指導困難」の克服



小中間に横たわる段差の解消



- ・出前授業
- ・保小中連絡協議会→久世教育推進協議会
(久世西小学校・久世西児童館も参画)
- ・合同人権教育研修会

第3期 平成10年代後半

(課題) 自己有用感を育てる 課題の共有化

「ピア・サポート」「ピース・メソッド」の取組



- ・久世ふれあい広場(中学生と保育園児)
- ・久世ハッピータイム(中学生と小学生)
- ・2小の連携 合同宿泊行事の実施

連携の機運の高まり 連携から一貫へ

- ・部活動体験日
- ・小中教員交流
- ・小6を迎える日

第4期 平成20年代初め

(課題) つながりの構築
家庭の教育力向上



- ・共同機構久世学校運営協議会の設立
- ・久世教育推進協議会 → 久世教育機関協働協議会
(5保育園 久世ふれあいセンター図書館が参画)

3. ピア・サポートを活用した小中一貫教育

小小連携から共同機構久世学校運営協議会立ち上げへ



小小連携

合同宿泊学習

- ・4年生 みさきの家 2泊3日 9月
- ・5年生 長期宿泊 4泊5日 7月

修学旅行 6年生は同じ時期に同じ方面へ



小小連携から課題共有へ



学芸会交流

小小授業研究会



親子ドッジボール大会

